

前 IAEG 会長 Carlos Delgado 氏からの挨拶

皆様

IAEG への皆様のご貢献と会長である私を支援していただきありがとうございます。2014 年も終わりに近づいてきましたので、2011 年から 4 年間の IAEG の発展を皆様とともに喜びいたします。

まず、最初に応用地質学のコミュニティとして IAEG はますます活発になってきています。会員数も 2011 年には 3,130 人でしたが、2013 年には 3,808 人と 21.7% 増えました。その間に香港グループが誕生しましたし、ベトナムとマレーシアの活動が再び始まりました。IAEG には 57 の国や地域グループが参加していますが、最も大きな使命は会員の増加をめざすことです。

IAEG の委員会の活動を促すために TOC (Technical Oversight Committee) を置いており、6 つの委員会を廃止し 5 つの新委員会の設置を行いました。ほかに 10 の委員会が活発に継続しています。学会誌はこの 4 年の間に大きく変わりました。編集長が Martin Culshaw に変わり、すばらしい仕事をしています。各回とも 200 ページに増え、この 2 年で Impact Factor が 0.617 から 0.721 に上がりました。

IAEG のウェブサイトは 2011 年に始まった Giorgio Lollino チームの努力で大きく改良されました。ビデオ講義、講座、発表記録や歴史資料などとても価値のある情報が掲載されています。

先年 9 月にトリノでの IAEG2014 コングレスが成功裡に開催され、1,030 人以上の技術者が参加し、1,700 編に及ぶ論文が 8 巻の論文集で出版されました。このコングレスは IAEG の歴史の中でもかつてないほど応用地質学に係る科学者や技術者、開発者を引き付けたものと言えます。

トリノの前の 2011 年と 2013 年にはモスクワと北京で地域会議を開催しました。また、この 4 年間にシンポジウムも開催されています。

前回の役員会と総会はトリノのコングレスに合わせて開催されました。次の 4 年間の役員が決まり 2015 年 1 月から仕事を開始します。アメリカの Scott Burns 先生が次期会長に、また 7 人の地域副会長が選ばれました、事務局は引き続き北京にあります。

応用地質学の継承と育成を促進する目的で IAEG 国際研究プログラムと科学技術賞 (S-T 賞) を設けました。TOC のメンバーが研究プログラムの評価を指導し S-T 賞を選びます。

IAEG 設立 50 周年の祝賀は IAEG2014 の開会式で行われました。また、立派なデザインの記念誌が全員に配られたほか、IAEG に貢献された方々や会誌購読者にも送られます。

IAEG の賞は応用地質学や IAEG の発展に貢献した方に送られるものです。Hans Cloos Medal は 2012 年にロシアの Osipov 教授に、今年 2014 年はフランスの Cojean 教授に、Richard Wolters Prize は 2012 年はギリシャの Haralambos 博士に、2014 年はシンガポールの Wong 博士に送られました。最近出来た特別賞 Marcel Arnould Medal の最初の受賞は英国の Brian Hawkins 教授に送られました。

会長として、この学会の全会員に、また 4 年間ともに仕事をした役員および総会のメンバーの方々に感謝し、かつ IAEG と応用地質学の将来の発展を確信しております。

Carlos Delgado